

救 急 訓 練 ～心肺蘇生法・AED、ケガの対処、搬送法

各種救急訓練の実施方法について記載しています

ここでは市民救命士講習ではない各種救急訓練を紹介します

1 ねらい

急病人やケガ人が発生した場合、救急車が到着するまでに、その場に居合わせた者が応急手当を速やかに行うことができれば、傷病者の救命効果が向上し、治療の経過にもよい影響を与えます。

そのためには、応急手当の方法をあらかじめ学習し、いざという時にすぐに行えるようにしておく必要があります。そこで、実践に即した各種救急訓練を体験し、その技法を習得するとともに、日頃から助け合うことの重要性・いのちの大切さを学びます。

2 必要スタッフ

(参加人員 30 名程度の目安)

2～3 人



3 必要なもの

(参加人員 30 名程度の目安)

実施内容	品目	数量
【心肺蘇生法・ AED 取扱】	蘇生訓練用人形	3～4
	訓練用 AED トレーナー (人工呼吸用マウスピース)	3～4 可能であれば訓練参加人数分
【ケガの対処】	三角巾	訓練参加人数分
	包帯等	訓練参加人数分
	厚手の雑誌 (電話帳等)	1
【搬送法】	毛布	1
	棒 (竹竿等)	2

4 実践に即した訓練

(1) AED を用いた心肺蘇生法

訓練参加者を数班 (約 10 人/班) に分け、実技を中心とした訓練を実施します。

- ① 心肺蘇生法及び AED の取扱について指導者から展示・説明を行います。
- ② シナリオに沿って AED を使用した心肺蘇生法を行います。



(2) ケガの対処

- ① 外傷などのケガに対し三角巾や包帯を使っての被覆処置や止血法の実施要領を行います。
- ② 骨折に対し身近なものを使って負傷部位を固定します。



(3) 搬送法

傷病者の状態や負傷部位、救助者の人数を考慮し最適な傷病者搬送法を習得します。

① 徒手での搬送（2人搬送）※右上写真

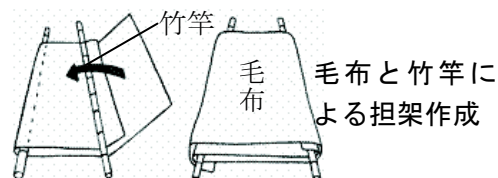


② 毛布での搬送（1人搬送）※右下写真



③ 応急担架の作成

毛布および竹竿等を使用し簡単に担架を作成することができます。また、救助者の上着を数枚繋ぎ合わせて作成する方法などを体験します。



竹をつかんで服を順に脱ぐ（下写真左から右へ）



(4) 出前トーク

救急に関する事項について、担当職員が直接地域に出向いてお話しします。なお、事前に希望するトークの内容を教えてください。よりニーズに即したトーク（対話）を行うことができます。

ちえぶくろ



AEDは決して難しい機器ではありません。電源を入れれば音声で操作方法を説明し、自動的に電気ショックが必要かを判別する大変優れた医療機器です。

5 事前準備

(1) 訓練会場の準備

訓練参加人数に適した会場を用意してください。

(2) 訓練で使用する資器材

訓練で使用する蘇生訓練用人形及び訓練用 AED トレーナーは指導員が当日用意いたします。

人工呼吸用マウスピースは財団法人神戸市防災安全公社で1個 500 円にて

販売しています。必要の際は最寄りの消防署へお申し込みください。

なお、救急訓練では人工呼吸用マウスピースの代替品としてガーゼ（無料）を使用することも可能ですが、いざという時に備えて、この機会に準備していただくことをお勧めします。

6 訓練申込み

最寄りの各消防署・救急係または防災福祉コミュニティ各地区担当者へお申し込みください。

ワンポイントアドバイス（AED編）

☆ 電気ショックが1分遅れるごとに7%~10%の割合で生存退院率が低下します。救急車到着の平均が約6分ですから、それまでにできるだけ早く電気ショックを行うことが、傷病者の生死を決めます。

ワンポイントアドバイス（ケガ編）

☆ 人の全血液量は、成人では体重の約13分の1といわれ、その30%が急速に失われると、生命に危険を及ぼします。ケガで出血している場合は、清潔なタオルなどで強く創口を圧迫し止血してください。

まちかど救急ステーション

神戸市では、AEDを設置したホテルなどの事業所に「まちかど救急ステーション」の表示をする制度を設けています。この制度は、まちなかで不慮の事故や急病で呼吸・脈拍が停止する重篤な状態になった方に、従業員や通りがかりの人が、まちかど救急ステーションに設置されているAEDで除細動を行い、救命することを目的としています。



「まちかど救急ステーション」の場所は、神戸市消防局のホームページで掲載するとともに、観光案内所や各区の防災マップ等に掲載しています。

(URL : <http://www.city.kobe.jp/cityoffice/48/>)

【まちかど救急ステーション標章】

救命の連鎖

